

令和6年(2024)2月1日発行

あら  
お

# 市議会だより

No.56

12月定例会



万田小学校  
6年生

くらもと えりな  
藏本 恵梨奈さんの作品

「万田坑」

目次	新議会体制	2
	議案一覧	4
	請願／賛否一覧表	5
	一般質問	6
	委員会視察／会派視察	10

# 新議会体制

令和5年第6回市議会（定例会）が12月4日開催され、議長に 浜崎英利 議員、副議長に 多田隈穰 議員が選ばれました。



## ●●● 就任のごあいさつ ●●●



副議長

多田隈 穰 議員



議長

浜崎 英利 議員

令和5年第6回市議会（定例会）において、第32代副議長に就任いたしました多田隈穰でございます。まず、前石崎議長が令和5年11月23日にご逝去されました。ご生前のご厚情に深く感謝するとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

石崎前議長の強い信念、情熱を引き継ぎ、これから浜崎議長をしっかりとお支えしながら、円滑な議会運営とさらなる議会の活性化に努めて参る所存でございます。少子高齢化が加速する荒尾市において、多様化するニーズや市民の皆様の期待に応え、地域課題を解決していくことは市議会の責務と考えております。

市民の皆様福祉の向上を目指して、これからも私たち議員一同、力を尽くして頑張ってまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

令和5年第6回市議会（定例会）において、第37代議長に就任いたしました浜崎英利でございます。まず、令和5年11月23日に前議長である石崎勇三議員がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

石崎前議長は市政の発展のため、市民の皆様のために日々公務を行われておりました。私たち議員一同は、荒尾市を愛された石崎前議長の思いを引き継ぎ、市政の発展にこれからも力を尽くして参ります。

今後とも、何卒、市議会にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 総務文教常任委員会・議会運営委員会委員および 大牟田・荒尾清掃施設組合議員について

多田隈穰議員の副議長就任に伴い、多田隈穰議員が総務文教常任副委員長、議会運営委員会委員、大牟田・荒尾清掃施設組合議員を辞任されました。

後任に、総務文教常任副委員長に 野田ゆみ 議員、議会運営委員会委員及び副委員長に 前田裕二 議員、大牟田・荒尾清掃施設組合議員に 星山幸司朗 議員が選ばれました。

# 12月定例会

議 会 で

決 ま っ た こ と



令和5年第6回定例会が12月4日から12月20日まで開かれ、補正予算9件、条例の一部改正6件、請願2件、意見書2件、人事案件1件、その他6件を審議しました。  
各議案の賛否一覧は5ページをご覧ください。

## 令和5年度 一般会計補正予算

補正額 (7号)	3億1,404万7千円
補正額 (8号)	6億650万7千円

補正後総額 270億1,895万円

## 主な議案

### 荒尾市潮湯条例の一部改正について

可決

潮湯の利便性向上を図るため、今後は、国民の祝日も開館されます。(年末年始は除く)



### リサイクル業務委託料(債務負担行為R6~10)

可決

11億3,810万円

ごみ減量化及びプラスチック資源の循環促進を図るため、令和6年4月からプラスチック類(容器包装プラスチック及び製品プラスチック)が新たにリサイクルの対象品目に追加されます。



### 字の区域及び名称の変更について

可決

荒尾都市計画事業南新地土地区画整理事業の施行に伴い、土地区画整理事業地の町名が、

かいようちょう  
**海陽町**

に変更されます。



### 人事案件について

同意

荒尾市教育委員会委員の任命に同意しました。

落合 克哉 氏 (月田区)



# 令和5年第6回定例会上程議案一覧及び審議結果一覧

議案番号	件名	委員会付託	結果
① 議第100号	荒尾市長等の給与等に関する条例等の一部改正について	総務文教	原案可決
議第101号	荒尾市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総務文教	原案可決
② 議第102号	荒尾市ふれあい福祉センター条例の一部改正について	厚生	原案可決
議第103号	荒尾市潮湯条例の一部改正について	厚生	原案可決
③ 議第104号	荒尾市立有明医療センター使用料及び手数料条例の一部改正について	厚生	原案可決
議第105号	字の区域及び名称の変更について	市民産業	原案可決
議第106号	市道路線の廃止及び認定について	市民産業	原案可決
議第107号	指定管理者の指定期間の変更について(荒尾総合文化センター)	総務文教	原案可決
議第108号	指定管理者の指定について(万田坑関連施設)	総務文教	原案可決
議第109号	指定管理者の指定について(荒尾市地域産業交流支援館)	市民産業	原案可決
議第110号	指定管理者の指定について(福祉関連施設)	厚生	原案可決
議第111号	令和5年度荒尾市一般会計補正予算(第7号)	財務	原案可決
議第112号	令和5年度荒尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	財務	原案可決
議第113号	令和5年度荒尾市介護保険特別会計補正予算(第3号)	財務	原案可決
議第114号	令和5年度荒尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	財務	原案可決
議第115号	令和5年度荒尾市南新地土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	財務	原案可決
議第116号	令和5年度荒尾市水道事業会計補正予算(第2号)	財務	原案可決
議第117号	令和5年度荒尾市下水道事業会計補正予算(第2号)	財務	原案可決
議第118号	令和5年度荒尾市病院事業会計補正予算(第3号)	財務	原案可決
議第119号	荒尾市国民健康保険税条例の一部改正について	市民産業	原案可決
議第120号	令和5年度荒尾市一般会計補正予算(第8号)	財務	原案可決
議第121号	荒尾市教育委員会委員の任命について	—	原案同意
令和5年 請願第8号	重度障害者医療助成制度について償還払いから現物給付に変更を求める請願	厚生	趣旨採択
④ 令和5年 請願第9号	日本政府に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願	総務文教	不採択
意見書 第2号	熊本県における重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化を求める意見書	—	原案可決
意見書 第3号	重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化に伴う国民健康保険制度の国庫負担金減額調整措置廃止を求める意見書	—	原案可決

## 議案等に対する 討論!

今定例会では、3議案に対して3人が討論を行いました。  
なお、討論の詳細につきましては、  
ネット中継でご確認ください。

スマートフォン・タブレットの方は、こちらの二次元コードを読み取ってご視聴ください。  
(討論の詳細が視聴できます)



閉会日の二次元コード

②	議第102号荒尾市ふれあい福祉センター条例の一部改正について
反対	北園敏光 議員
③	議第104号荒尾市立有明医療センター使用料及び手数料条例の一部改正について
反対	野田ゆみ 議員

④	令和5年請願第9号日本政府に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願
賛成	野田ゆみ 議員 田中浩治 議員 北園敏光 議員

# 請願

請願とは、憲法で保障された国民の基本的権利であり、国や地方公共団体に意見や希望を述べることです。

本定例会で提出された2件の請願は以下の通りです。

## 重度障害者医療助成制度について償還払いから現物給付に変更を求める請願

### 【要旨・請願事項】

現行の障害者医療費助成制度は、通院時に受診した医療機関の窓口で自己負担分を一旦立て替えた後に市役所の窓口で申請し、3か月後に助成金が支給される償還払い形式がとられている。償還払い方式の一時立て替えは、経済的にも精神的にも大きな負担になるので、ぜひ荒尾市でも重度障害者医療助成制度について償還払いから現物給付に変更することを求める。

### 【審査の経過及び結果】

本請願は、厚生常任委員会で趣旨採択とすべきものとし、本会議でも、全会一致で趣旨採択となりました。

本制度の現物給付化の実現に向けて、熊本県に「熊本県における重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化を求める意見書」、国に「重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化に伴う国民健康保険制度の国庫負担金減額調整措置廃止を求める意見書」を提出しました。

また、今定例会閉会日終了後に、請願者の方々から市長に対して、本制度の現物給付化を実現してもらうよう陳情書が提出されました。



## 日本政府に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出に関する請願

### 【要旨・請願事項】

在日米軍の兵士や軍属らによる事件や事故は、旧日米安保条約の発効後から現在までに全国で21万件を超えている。こうした事件・事故の背景には、日米地位協定がある。日米地位協定を抜本的に改定し、基地提供の期間や使用目的等条件の明記等を実現することを強く求め日本政府に意見書の提出をお願いする。

### 【審査の経過及び結果】

本請願は、総務文教常任委員会で審査。委員からは、日本の中において安心安全が担保されるべきであり、安全の担保に課題があると思うため採択すべきという意見や、請願者の願意は理解するが、社会情勢等も変化しているため、慎重に判断する必要がある等の意見がありました。採決した結果、賛成少数により、不採択とすべきものとし、本会議でも賛成少数により不採択となりました。

## 令和5年第6回定例会 賛否一覧表

下記以外の議案は全会一致で原案可決、趣旨採択、原案同意になりました。

浜崎議長は可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

●は賛成 ×は反対 ※議席番号順

議案等	結果	議員名 表決数 賛成 反対	前田	星山	多田	木村	田中	野田	菅嶋	元山	中野	渡辺	谷口	古城	小田	鶴田	浜崎	橋本	北園
			裕二	幸司朗	隈 穰	誠一	浩治	ゆみ	公尚	孝雄	美智子	勇一	繁治	義郎	龍雄	賢了	英利	誠剛	敏光
① 議 第 1 0 0 号	原 案 可 決	14-1	●	●	●	欠席	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	×
② 議 第 1 0 2 号	原 案 可 決	14-1	●	●	●	欠席	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	×
③ 議 第 1 0 4 号	原 案 可 決	14-1	●	●	●	欠席	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	●
④ 令 和 5 年 請 願 第 9 号	不 採 択	5-10	×	×	×	欠席	●	●	×	×	×	●	●	×	×	×	△	×	●

# 一般質問

## 市政のココが聞きたい

一般質問とは、議員が執行部に対して、事務の執行状況や将来に対する方針等について問いただすものです。

今回は8人の議員が質問を行いました。

### 菅嶋 公尚 議員



#### 本市の介護保険行 政の推進状況と来 期の見通しについて

**問** 本市の介護保険料は現行(令和5年度まで3年間の第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画では基準保険料(月額)が第7期の5,800円から5,300円に引き下げられ県下14市で一番安く、南筑後地区も含めた近隣自治体でも最低額。市民負担が少ないのは喜ばしいが現行の推進状況と来期(令和6年度から)の見通しを示して。基本理念の「誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる」の実現へ今後も尽力を。

※その他、防災拠点としての機能も發揮できるスポーツ施設の整備について、イノシシなどの有害鳥獣被害から市内の農業や住民生活を守ってについて質問した。

#### 答

第8期介護保険事業計画期間における主な取り組みとして、コロナ禍においても、地域の通いの場である介護予防拠点の整備を進めるとともに、地域や社会福祉協議会と連携し、介護予防の取り組みを推進してきた。

その結果、本市の介護認定率は、全国平均及び県平均よりも低い状況となり、介護保険給付費の伸びが抑制されたことから、令和3年度以降、介護保険特別会計は黒字決算が続いている状況である。

そのため、今期全体の収支状況は、当初予定されていた介護保険準備基金の取り崩しを行うことなく、収支均衡の状態となると見込んでいるところ。

来期については、引き続き「地域の介護予防・生活支援体制の充実」を重点施策として、介護予防活動を推進していくとともに、今後の介護報酬改定分を加味しつつ、介護保険給付見込み額を算定するが、保険料基準額の設定にあたっては、本基金を有効活用する方向で検討する。

### 田中 浩治 議員



#### プラスチック製容 器包装等リサイク ルの実施について

**問** 来々4月の実施に向け、分別ネットの購入費や5年間のリサイクル業務委託料の債務負担行為が計上されている。円滑な実施を求める。そこで①市民説明会と事業者へ過剰梱包抑制要請の取り組み。②可燃ゴミに混入されても違反ゴミにならないが、ゴミ袋混入平均組成割合での目標。③廃プラリサイクルでの地区協議会への還元金の有無。④廃プラだけのリサイクル日に他の品目を出された時の対応。⑤農業用廃プラスチックの回収はどうか伺う。

※その他、改正空家等対策特別措置法など空き家対策の推進について質問した。

#### 答

① 住民説明会は、来年度の1月中旬から3月にかけて、各地域の公民館等で開催予定。事業者への回収や過剰梱包抑制の要請については、事業者の責務として、今後も情報の共有と協力を求めていく。② 済み処理基本計画において、家庭から出る一人一日当りのごみの量を、平成30年度の530gから令和16年度には20%削減し424gとする削減目標を掲げている。また、地球温暖化対策計画において、燃えるごみに含まれるプラスチック類を2030年には0%を目標としている。③ プラスチック類は、他のリサイクル品のように有価物として引取りがないことから、地区協議会への還元金の対象にはならない。④ プラ類だけの収集日に他の資源物が出されていた場合、排出する日が違っていることを表示するとともに、次回の収集日前までには回収する予定としている。⑤ 農業用や事業所からの排出については、これまでどおり、事業系ごみとして適正な処理をお願いしていく。



## 支援が必要な子どもたちについて

**問** ①支援学級名が幼く感じ、普通の学級のような単純なものに変更はできないのか。②軽度の障がい等の子どもが通常学級に在籍しながら特性にあった指導を受けられる「通級学級」が小学校では3校のみの実施。すべての学校で実施できないのか、できないのであれば職員による巡回にて実施を求める。③新型コロナウイルス感染拡大により中止しているふれあいピックの再開はできないのか。

※その他、放課後児童クラブについて、保健福祉子育て支援施設(仮称)の市民サービスについて質問した。

## 答

特別支援学級の学級名については、各学校で子供たちに定着したものであると考えており、教育委員会から学校に名称を変更する旨を助言する予定はない。保護者が校長に希望された場合は、校長を中心に幅広く意見を聴取し、検討する。そして十分な協議の後、学級名を変更する場合は、教育委員会では文書名の変更や周知を行う。今年度、本市においては、荒尾第二小学校、万田小学校、中央小学校、荒尾海陽中学校に通級教室を設置している。制度的には通級教室の担当が市内の他の学校へ巡回指導することは可能である。しかし、現状では、すぐに他校へ巡回指導を行うことは難しい状況にある。

特別支援学級に在籍している児童生徒の運動会であるふれあいピックについては、一部の学校で開催している。コロナ禍で中止した市全体でのふれあいピックを再開することについて、荒尾市特別支援教育研究会を中心に、各学校や教育委員会が連携を図り検討していく。



## 空き家対策について

**問** 空き家を発生させたり放置したりしないためには、空き家を売る、貸す、使う、解体するなどの方針を決め、方針に合ったサービスなどを活用して実行に移すことが重要である。空き家の発生原因の半分以上が相続である。親の考えや思いを伝えないまま子どもが実家を相続すると、空き家になった実家をどうするかの方針がなかなか決まらず、遺産分割や相続登記、家財の片づけや遺産の整理など問題が山積みで、活用に踏み切れない。

※その他、地域コミュニティについて、荒尾市公共施設総合管理委託について質問した。

## 答

本市の空家等対策は、第二期空家等対策基本計画において、「空家等の発生を抑制する対策」「空家等の減少に向けた対策」「空家等の適正管理対策」の三つの基本方針を推進している。特に空家等の減少に向けた対策では、空家・空地バンク事業に平成28年度から取組んでおり、不動産業者の協力のもと順調に登録数も増え、現在までに77件の登録のうち38件が成約に至る等、空家の利活用の部分で着実に成果が上がっている。また、空家の解体費に対し2分の1の最大50万円を補助する「老朽危険空家等除却促進事業」は、申請23件のうち補助要件に合致したものが9件と、例年並みの実績となっている。空家の発生原因は相続によるものが多く、今年開催した空家対策セミナーでは、熊本地方法務局から職員を招き、「相続登記の義務化」というテーマで講話をしていただいたり、出前講座で新たな相続登記制度を意識してもらうなど所有者の管理意識の向上に努めている。



## 教育現場における今後のICTのあり方について

**問** GIGAスクール構想の主な目的は現代に合わせた学習環境を整備し、生徒一人一人に最適化された教育を提供することである。しかし課題となるのが教育の業務負担の削減である。業務の効率化が求められる。今まで紙で行っていたテストやアンケート等をデジタル化し、配布、収集、保管の手間と時間を削減できる。よって負担削減に貢献できるが、教員の知識やスキルは十分なのか。格差の出ない学びの場を作る取り組みについて伺う。

※その他、国民健康保険一部負担金減免制度について質問した。

**答**

令和3年2月より市内全小中学校でLTEの1人1台タブレット環境となり、教師は授業中に一人一人の反応を把握し双方向型の二斉授業が可能である。ICT活用が苦手な教職員にも配慮し各学校の情報教育主任を中心に校内で研修を行ったり、ICTサポート支援員と連携、協力したりすることでクラス間、学年間の差を生まないようにしている。

ICT機器使用における有害な情報は、フィルタリングをかけ児童生徒が見ることができない状態である。アプリケーションに関しても児童生徒が自由にダウンロードはできない状態にしている。タブレット機器は5年ごとに更新する計画である。生成AIの活用については、文部科学省が示しているガイドライン及び熊本県教育委員会の生成AIの取扱い指針を踏まえ適切に対応していく。自己の判断や考えが重要であること等を十分に理解させることや児童生徒の発達の段階や実態を踏まえ、基本的な考え方を学校に指導助言していく。



## 荒尾市における今後の農業政策及び具体的な推進計画について

**問** JA荒尾総合支所の昨年（2022年）の次世代総点検アンケートの結果は10年後に水稲面積が71%に、梨栽培面積が58%、露地キャベツが39%に減少するという深刻な結果だが、本年9月に策定された荒尾市農業基本構想には全く記載されず、昨年国会で全会一致で法制化され農水省が最重点と位置付ける「みどりの食料システム戦略」も欠如している。荒尾市の農業危機の打開策は極めて不十分でありもっと本気で全国の実績事例等を補強すべきだ。

※その他、有機農産物の学校給食などへの導入について、アサリ等漁獲量増加のための大島浄化センターにおけるリン濃度増加などの排水対策について質問した。

**答**

「次世代総点検アンケート調査」の結果にある、高齢化や耕作放棄地の増加、後継者不足など将来への不安の声が挙げられていることは重く受け止めており、さらなる支援策の実施や体制の強化が必要である。

人口減少や高齢化は続く見通しであることから、次世代の担い手への集積・集約による農業生産の効率化を進めていかなければならない。時代に合わせた生産や経営スキルを習得した担い手の育成といった「人材の育成」や、農地の団地化や担い手への集約等といった「生産力の向上」、道の駅での農産物販売や地産地消の推進、ブランド化による付加価値の増加などによる「販路の拡大」に力を入れて取り組んでいきたいと考えている。

農家からのニーズや地域の実情を第一に考えながら、県やJA等と連携して各関係機関の強みを生かした施策を計画的・横断的に展開すること、これら状況を乗り越え本市農業が次世代につながるよう取り組みしていく。





**アーバンスポーツを視野に入れた、適切なスポーツ環境整備とストック適正化について**

**問** 令和版運動施設は、既存施設のフル活用や、どのような施設がどの程度必要となるのか、将来の人口動態やスポーツの実施状況、利用状況を踏まえた計画の策定など、適切なスポーツ環境整備とストック適正化が大事である。誰もが、気軽に、スポーツを楽しむ場を提供することが必要になる。①今後の体育館・運動施設等の整備について。②スケートボードなど、これから主流になってくるアーバンスポーツの取り組みについて伺う。

**答**

荒尾運動公園施設は、市民の健康づくりや競技大会の開催に利用されている。今後の市民体育館・運動施設等の設備については、子どもや高齢者、障がいの有無に関わらず、全ての市民がスポーツに親しむ環境を提供するため、ユニバーサルデザインやバリアフリーの視点を取り入れ、市民ニーズ等も踏まえた上で、人口減少や財政状況を考慮しながら持続可能な施設整備を行いたい。

また、本市においても若者のスポーツ離れが見られ、気軽にできるアーバンスポーツは、音楽やファッションとの親和性が高く、これまでのスポーツに関心がなかった若者層を取り込む可能性がある。まず、市民ニーズや他の自治体の施設整備状況を把握した上で、本市に最適な施設の整備や人的資源の確保についてもあわせて検討したい。

これらの取り組みを通じて、スポーツ推進基本計画の基本理念である「スポーツによる元気でいきいきとした楽しいあらおづくり」の実現に努めたい。

※その他、ヤングケアラーの支援について、オーガニック・有機農業の推進について質問した。



**教育について**

**問**

荒尾市立図書館は令和4年から「教科書センター」として位置づけられているが、旧図書館時と同じように2週間の期間限定の展示形式であった。教科書センターとして位置づけられたからこそさらにグレードアップさせ、常時閲覧可能で教科書の歴史・変遷について学べるような教科書センターの設置が必要と考えるが、考えを伺う。

**答**

荒尾市立図書館は、「学びをつたえる」「交流活動とつながる」「未来につづく」の基本方針のもと、学びと交流の場として商業施設内に位置し、多世代の利用者が気軽に訪れることができる環境を提供している。

これまで教科書展示会では、教科書検定に合格した教科書や現在市内の小中学校で使用している教科書を展示し、保護者や一般の人々が閲覧できるようなしていたが、期間限定の展示だったので、今後は年間を通じてより多くの市民が、現在子どもたちが使用している教科書を気軽に手に取り、子どもたちの学びに関心を寄せることが出来るよう、図書館内での常設展示に向けて準備を進めている。

今後も、荒尾市立図書館は、あらゆる世代の学びを深め読書を楽しむ場、さまざまな活動を通じた交流の場として、家庭や学校、職場とは異なる第三の居場所の機能を維持し、市の教育と文化の振興に寄与する生涯学習の拠点施設としての役割を果たしていきたい。

※その他、子育て支援について、社会を明るくする運動について質問した。

# 令和5年度 常任委員会及び会派による先進地視察

## 総務文教常任委員会

10月10日及び11日に神奈川県須賀市と文部科学省を視察した。

初日は横須賀市にて、「アーバンスポーツのまち 横須賀プロジェクト」を視察。本事業は、令和4年4月から新たな横須賀のイメージを発信することを目的として、一般社団法人全日本フリースタイルBMX連盟と「アーバンスポー



【横須賀市視察】



【文部科学省視察】

ツを活用した連携協定」を締結し開始された。初年度には東京オリンピックで正式種目となったBMXの大会を自治体では初めて誘致し、横須賀市で開催した。プロジェクト開始2年目の令和5年7月には参加者が2万人を超える国際大会を開催している。イベントの開催だけではなく世界大会で活躍する選手が、学校訪問を行うなど、普及啓発活動にも力を入れていることを伺えた。

2日目は文部科学省にて、初等中等教育局における重点政策、ヤングケアラーに対する支援策、不登校児童に対する支援策、学校の教員不足についての対策、学校における働き方改革、運動公園施設の先進事例等について、文部科学省、こども家庭庁、スポーツ庁の職員より説明を受けた。国の推進する事業について予算や実例を含めて話を伺うことができ、本市でのヤングケアラーに対するの支援や、社会体育、運動公園の再配置計画の検討を進めていくうえで、大いに参考になる視察であった。

### 【参加委員】

中野美智子（委員長）、多田隈穰（副委員長）、木村誠一、野田ゆみ、菅嶋公尚、橋本誠剛

## 市民産業常任委員会

10月31日及び11月1日に奈良県生駒市と広島県東広島市を視察した。

初日は生駒市にて、「いこま空き家流通促進プラットフォーム」を視察した。本事業は、「どこに相談すべきかわからない」「相談したけど受け付けてもらえなかった」といった悩みを持つ所有者に寄り添い、案件に応じて適切な専門家が担当につき、賃貸や売却に向けて支援する仕組みであり、平成30年5月に設立された。また、昨年度から、空き家を地域課題解決のために利



【生駒市視察】

活用する新たな取組も開始されている。本市の今後の空き家問題をどうするか考えていくうえで、大いに参考になる視察であった。

2日目は東広島市にて、道の駅「西条のん太の酒蔵」について、株式会社第一ビルサービスの職員より説明を受けた。この道の駅は、子育て世代から高齢者まで、様々な市民の方が快適に過ごせるような構造となっており、令和3年6月には防災道の駅にも認定されている。特に、子供向け屋内遊技場



【道の駅「西条のん太の酒蔵」視察】

は、雨の日にも小さい子供から小学生まで遊べるような配慮が行き届いていた。本市では、現在、道の駅・保健・福祉・子育て支援施設整備の計画を推進している。実際に、本市の道の駅整備に関わっていく事業者から直接話を伺い、第一ビルサービスが手掛けた道の駅の視察をすることは、今後、本市の道の駅整備を進めていくうえで、大いに参考になる視察であった。

【参加委員】

鶴田賢了（委員長）、元山孝雄（副委員長）、前田裕二、田中浩治、渡辺勇一、小田龍雄

創生荒尾の会・  
公明党議員団合同会派

創生荒尾の会と公明党議員団の2会派5人の合同会派視察は11月13日から15日まで、宮城県内で実施。柴田郡川崎町内の旧小学校を丸ごと使ってアーバン（都市型）スポーツを満喫しながら競技者としても成長できる施設を視察。仙台市宮城野区の「元気フィールド仙台」ではアーバンスポーツ普及



【屋外のスケートボードパーク視察】

スケートボードパーク、芝生広場がある。東日本大震災時には冷暖房もできる体育館が避難所機能を発揮した。老朽化が進む荒尾市内スポーツ施設更新の際にはアーバンスポーツ施設整備を検討してほしい。公的負担と受益者負担のバランスを保ち、多世代交流の促進にも取り組むことを期待する。

【参加議員】

創生荒尾の会

小田龍雄、菅嶋公尚、古城義郎

公明党議員団

中野美智子、元山孝雄

促進を学んだ。川崎町の旧川内小学校には総合スポーツ複合施設「ikutto（いくと）」があり、元五輪選手など世界レベルのアスリートが指導。校舎側をトレーニング、体育館側を競技施設に改装。トランポリン、マウンテンバイク、ボルダリング、パルクール、スケートボードなどの体験が可能。屋内施設が主体なので雨天や冬期にも利用しやすく、併設されたカフェも生かし地域の憩いの場にも。「元気フィールド仙台」には宮城野体育館、温水プール、仙台市民球場、アーチェリー場、ボルダリング室、



【「ikutto」併設のカフェで説明を聞くメンバー】

## 表紙について

私の生まれたまち、荒尾の誇りをみんなに伝えたいという想いを込めて描いた万田坑です。レンガを一枚一枚観察して丁寧に描きました。

私たちが取り組んでいる万田坑のボランティアガイドについて紹介します。

万田坑が平成二十七年七月に世界文化遺産に登録されたことを契機に、地域の宝に対して「誇りに思う」「拡げる」「受け継ぐ」を目的に万田小ボランティアガイドは始まりました。

現在は、万田坑に会場してもらったり、施設等のことを知ってもらったりするために、荒尾市や熊本県の協力を得て、私たちのアイデアを取り入れたリーフレットを作成し、活用しています。

今年の修学旅行では、訪問した長崎で、同じ世界遺産である軍艦島デジタルミュージアムに置かせてもらったり、長崎市内の方や観光客（外国人含む）にも渡したりして、万田坑のPR活動を行っているところです。

今後は、これまで築いてきた「こども万田坑ガイド」の伝統を守りつつ、時代に合わせて改善を加えながら次の世代へと引き継いでいきます。



## 石崎勇三前議長の 逝去について

本市議会前議長の石崎勇三氏が、令和5年11月23日に60歳で逝去されました。

石崎氏は、平成23年に本市議会議員に初当選され、議会活性化推進特別委員長、市民福祉常任委員長、建設経済常任委員長、議会運営委員長などを歴任され、4期目となる今回は、第36代荒尾市議会議長に就任されるなど、市政の発展にご尽力されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## 編集後記

本市議会の石崎勇三前議長は、いつも穏やかで温かく私たちを見守ってくださっておりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今定例会では、新議長・副議長選挙が行われ、新議長が浜崎英利議員、新副議長が多田隈穰議員に決定いたしました。市政の発展のためにご尽力された前石崎議長の思いを引き継ぎ、これからも荒尾市議会は市民の皆様のために力を尽くして参ります。

また、今定例会での多田隈穰議員の副議長就任に伴い、今号から、広報広聴委員会会長が多田隈副議長に変わります。これからも議会活動を市民の皆様にかかりやすくお伝えできるよう頑張ってください。ご拝読いただけると幸いです。

### 「広報広聴委員会」 広報部会

広報広聴委員会会長 多田隈穰

広報部会長 前田裕二

委員 田中浩治 委員 菅嶋公尚

委員 中野美智子 委員 谷口繁治

委員 小田龍雄 委員 橋本誠剛